

「京都観光デジタルマップ スタンプラリー」の概要

経緯・目的

■背景

- 秋の観光シーズンには、東山・嵐山などの主要観光地に観光客が集中するとともに、市内への自家用車の流入が増加し、**観光地周辺や道路等で混雑が発生し、市民生活にも影響**。
- そのため、主要観光地から周辺・他エリアへの観光分散や、公共交通への転換、市内への自家用車流入の抑制が重要。
- これまで、観光・交通情報を一元的に提供する「京都観光デジタルマップ（京スマ）」を構築・運用し、混雑状況の見える化や分散観光を促す情報提供を実施。さらに、**情報提供から一歩進んで観光客の行動変容を促すため、「ゲーミフィケーション」を活用した取組を展開**。

■昨年度の取組

- 昨年度は、「京スマ」を活用したデジタルスタンプラリーを2回実施し、ゲーミフィケーションによる行動変容の可能性を検証。
- その結果、**複数の行動変容を一体的に促す手法として一定の可能性を確認**する一方、参加者のさらなる拡大や時間分散、パーク＆ライド（P&R）の利用促進等に課題が残った。

■今年度の取組

- 昨年度の成果・課題を踏まえ、ゲーミフィケーション施策をさらに拡充。TVアニメ【推しの子】とのコラボして**参加者の拡大**を図るとともに、「**場所」「時間」「交通手段**」の3つの行動変容を**一体的に促進し、観光地・道路・公共交通機関の混雑緩和を目指す**。

実施概要

■取組内容

▶ 多彩なエリアを巡る（場所の分散）

- 観光客が集中する主要観光地だけでなく、京都御所・下鴨、修学院、桂・松尾、太秦など、市内の多彩なスポットを設定

▶ 混雑する時間帯を避けて楽しむ（時間の分散）

- 主要観光地等では、人流データに基づく時間帯別の滞在傾向を踏まえ、混雑時間帯は1pt、比較的空いている時間帯は3ptに設定し、混雑を避けた観光を促進

▶ 公共交通で巡る（交通手段の転換）

- 鉄道駅やパーク＆ライド駐車場等に「交通スポット」を設定し、公共交通を利用したエリア間の周遊や自動車の流入抑制を促進
- 都心部外周のプリングパークも活用し、都心からの距離に応じたポイント（1～3pt）を設定

■開催期間

- 令和8年11月2日（月）～12月14日（月）

詳細はこちら

■参加方法

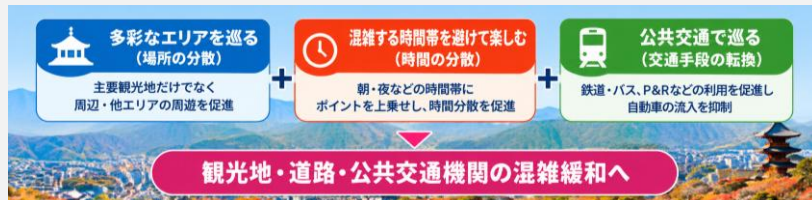
- スマートフォンから京都観光デジタルマップ「京スマ」にアクセス
URL： <https://platinumaps.jp/r/kyoto-smart-navi/press8>
- アプリのダウンロード不要・参加費無料
- 事前エントリーは、令和8年10月23日（金）から開始予定



■特典

- ミッションクリアでオリジナルステッカーをプレゼント（※一部、配布のない施設があります）
- 獲得したポイントに応じて、京都の名産品等が当たる抽選に応募可能

■期待される効果



■実施体制

- 実施主体：京都エリア観光渋滞対策実験協議会（事務局：国土交通省 近畿地方整備局 京都国道事務所）
- 協力：京都市、公益財団法人 京都市観光協会
- スタンプラリーに関するお問い合わせ： kyoto_stamprally_2026@oriconsul.com
- ©赤坂アカ×横槍メンゴ／集英社・【推しの子】製作委員会

